

知多版



潮岬灯台
来島嘉彦
一水会

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

半田支局 〒475-0903
半田市出口町1-45-18
0569-21-0021 Fax23-2372
中部空港支局 〒479-0881
常滑市セントレア1-1
0569-38-1310 Fax38-1311
東海通信局
0562-32-0240 Fax33-5065
大府通信局
0562-46-2668 Fax46-6833
常滑通信局
0569-35-2248 Fax36-0040
内海通信部
0569-62-0055 Fax64-0005

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

自分らしく 知多の企業PR

半田 フリーアナ小野木さん



「シングルマザービューティーアワード」の日本大会に出場する小野木さん＝半田市役所で

半田出身の小野木さんは、大学卒業後の二〇〇九年、石川テレビ(金沢市)にアナウンサーとして入社し、報道や情報番組などで活躍した。一四年の退社後は、東京を拠点にフリーアナウンサーとして活動をした。転機は、昨年三月の離婚を機に現在五歳の息子と地元半田に戻ってきたことだった。「新しいことを始めたい」と、企業PRを支援するようになった。テレビ局で働いていたころ、数多く届く企業のプレスリリースはほとんど目を通されない一方、「番組で取り上げる話題がない」と嘆く、上司や同僚の姿を見つけた。こうしたミスマ

ッチャを経験したことから着想した。現在「女子アナ広報代行」と称し、企業がアピールしたい事業や商品に対し、その新規性や時事問題に関わる点などの「ニュース価値」を助言し、メディアで情報発信されやすいようにしている。そんな中、シングルマザーが女性としての美しさや母としての輝きを競う大会への出場を決めた。大会関係者に「シングルマザーとして自信を持って生きて」と背中を押されたことがきっかけ。離婚して以降、他者からの視線ばかりを気にしている自分を変えたいという思いがあった。

先月開かれた東京大会ではスピーチとウォーキングの審査があり、観客の投票による「オーディエンス賞」を獲得。全国二十八人が競う日本大会出場を決めた。今月七日には半田市役所を訪れ、久世孝宏市長に全国大会出場を報告した。市長は「オーディエンス賞がとれたということは多くの人に共感してもらった証拠」とエールを送った。出場を決めて以降は、仕事の面でも「自分で決める」ことを大切にしてきたという。小野木さんは「知多半島には素晴らしい商品やサービスを提供している企業がいくつもあるのに、知られていない」と指摘。「知多の企業はよくテレビに出ていて、と認識してもらえるように活動していきたい」と今後を見据える。

シングルマザービューティーアワード出場

商品や事業がマスメディアなどに取り上げられやすくなるよう、企業PRを支援する半田市在住のフリーアナウンサー、小野木梨衣さん(三三)が、大阪市で十二日に開かれる「シングルマザービューティーアワード」の日本大会に出場する。離婚後、周囲の目を意識しがちだった自身を変えたいと臨んだ大会。晴れ舞台を前に小野木さんは「他者にどう思われるかではなく、自分がどう生きたいか表現したい」と語る。(石井豪)